

年頭のごあいさつ

村民一体となつて

財政難の克服を

村 長 金子誠一



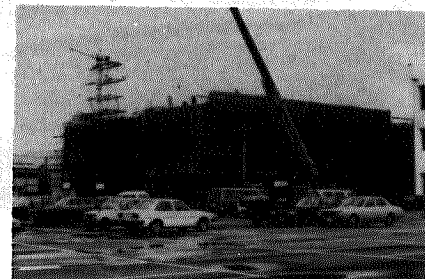
衷心より感謝とお礼を申し上げます。今年も又、心を新たに、村民各位の合意と参加の中にあつて、より積極的な行政の推進を図り、皆様方のご期待と信頼にそむかぬ様、誠心誠意応えてまいりたいと思ひますので、よろしくお願い申し上げます。

明けましておめでとうございませう。新春を皆様と共に喜び申し上げます。お陰様で予定させていただきました諸事業の実施を始め、村政全般にわたる運営についても、極めて円滑且つ円満な中で推移させていただきまして深くよろこびを感じております。

今一番、気がかりなことは、国の財政事情であります。世界的経済不況から生ずる諸々の国際摩擦等、景気は依然として低迷を続け、ために国は大巾な税取減となり、赤字国債の脱脚願も空振りとなり、国債の再増発も余儀なくされ、かつない人事院勧告の凍結さえも実施しなければならぬ最悪の現状であります。

源への依存によって成り立っており、若しこのような状態が今後継続されるようになれば、正に地方自治体は存続の危機を懸念、いづれ財政制度の改善が迫られるものと予測されます。今、国は行政改革を始めたところ、一連の財政対策に必死といった実情かと思つております。勿論地方自治体においても、国に準じ或いは又、自主的な改革や見直しをして行くことは当然であり、やむを得ず、それによる限度があるとはいえ、精一杯すべき事は、やるという信念のもと、取り組んでまいり所存であります。

等将来にわたって多くの障害が残るであろうと、専門家は指摘し、診断の結果がだされたのであります。現在の生活環境からいって、万一のことを考えると、一時たりとも放置することは許されず、議会の皆様方十分検討、協議の結果、早急に新設することに踏み切った次第であります。その位置については、取水の条件からいって、夏井地内の弥彦村寄り最も適当とされたのであります。



▲順調に工事の進んでいる役場庁舎

1983

はばだけ!!



更に役場庁舎も建設中であるといった現状の中で、老朽化も甚だしく、利用価値にも乏しい支所を何んとかしなればならないと思つております。勿論改築するとなれば、支所兼公民館の分館としての機能を果たす、地域住民各層の利便に供することのできる施設でなければなりません。しかしそのために、将来的なことも併せ考えた中で、十分検討の余地が残されている様にも思ひますので、今後

話し合いの場を求めながら、積極的に促進を図つてまいり所存であります。

路整備、青少年の健全育成、交通安全、犯罪防止等を重点といたしておりますが、更に国、県と関連をもつ道路を始めとし、水産、治山、観光等々にも新規、継続といふ多岐の問題を抱えているところがありますので、関係の皆様と共に精一杯、努力をしてまいりたいと思つております。

さて、一層深刻なものが予測される所存であります。従つて、これからの村政の運営には、特に皆様のご理解とご協力、そしてお互いの誠意に待つところが極めて大きいと思つております。従来に増して、村民の皆様と一体となつて明い豊かな村づくりに取り組んでまいりたいと思ひます。

決意を新たに

新しい村づくりを

村議会議長 藍沢六郎



霊峰弥彦多宝のやまなみに、新雪の輝く、昭和五十八年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

て厳しい社会情勢の中で、九十兆円を越える財政再建の為の臨調の行政改革の答申が、次々と、強く打ち出された年でもあつた訳であります。さらに今年も、私たちのもつとも関心事の、十五兆円にのぼると言われる補助金の見直しを組上に、検討中であると言われており、その中で、再編対策の補助金の見直しも含まれているとの事で、単作地帯の当岩室村の農家にとりましては、大変な問題であり憂慮するところでありませう。

また、上越新幹線の開通と、首都圏までわずか九十分と時間的短縮はいうに及ばず、表日本、裏日本の地域格差の変革の時代が訪れた訳であり、文字通り高速交通時代、いわゆる、日本海時代が到来した訳であり、新幹線による恩恵を活用する、受入態勢の画期的な対応が要求されることではなからうかと思ひます。農業、観光、商工業に於いても、指導態勢の確立を期さなければならぬと、考えを新たにしていく所存であります。

一ページに残る庁舎新築の施工を始め、老朽化の激しい、しかも、一日もゆるがせに出来ない日常生活直結の浄水場の新設へと動き出し、地権者はじめ関係者各位のご理解とご協力により着工準備を整えつつある所存であります。

今年も、一層のご協力をお願い申し上げます。村民各位のご健康と最良の年でありませうと祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。